

在宅医療は大丈夫なのか？

5月21日(日)

どなたでも
参加自由!

①勉強会・本堂 14時～16時 ②交流会 16時～18時

お話：上農哲朗 医師 (おおむち診療所:在宅療養支援診療所管理者)



在宅医療を受けて、家で家族に囲まれて幸せに旅立って逝くドキュメント番組をよく見る。国も病院から在宅へと様々な施策を打ち出している。しかし、介護が必要な家庭を見ると、老夫婦だけ、いわゆる「老老介護」であったり、認知症の方が介護をしているケースもある。もちろん一人暮らしの方も非常に多い。この状態で在宅で最期まで行くことはかなり難しいのではないだろうか。

最近見た番組では在宅訪問をする医師の数が足りない、また、経験不足の医師による問題も起こってきているという。さらに、サービス付き高齢者住宅(サ高住)での診療報酬が引き下げられ、そこから撤退する医師が増え、サ高住など高齢者施設での診療が受けにくくなっているという。

—在宅医療の現状について上農先生にうかがいます。(住職 記)

檀信徒以外の方も、曹洞宗以外の方も、初めての方も、お気軽にご参加ください。

二十五三昧会(にじゅうござんまいえ)とは、お寺が中心となり「メンバーの誰かがヘルプを願い出たら、みんなで出来る範囲のお手伝いをしよう」など、ゆるやかな人的交流の互助的な共同体です。入会費や制限など一切ありません、詳しくはお寺までご連絡を。(平日10時～16時)

会員
募集中

お問い合わせ—観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203